



視覚障害リハビリテーション協会

Japanese Association for Rehabilitation of the Visually Impaired

視覚障害リハビリテーション協会 ホームページ リニューアル経過と 今後の取り組み

○吉野 由美子(視覚障害リハビリテーション協会)

稲垣吉彦(有限会社アットイーズ)、
北神あきら(特定非営利活動法人視覚障害者パソコンアシスト
ネットワークSPAN)

藤縄泰彦(社会福祉法人日本盲人職能開発センター)

名児耶剛(公益財団法人日本盲導犬協会・東京事務所)

鈴木亜衣子(公益財団法人日本盲導犬協会・東京事務所)

活動報告の目的

2018年12月8日にリニューアルオープンした協会ホームページについて

1. リニューアル前のページの状況
2. リニューアルオープンの達成目標
3. リニューアルにいたる過程
4. 今後の取り組み

上記を参加者と共有することによって、協会ホームページに対する理解を深め関心を高めること

リニューアル前のページの状況

- 音声ユーザーのアクセシビリティにも配慮されたオリジナルの簡易CMSによって運用
- 音声ユーザーに評判が良く、Web閲覧初心者の練習用にも使用された
- 画像や図などの表示が困難だったため、視覚的に見ている方にとって魅力が乏しい
- 簡易CMSにあらかじめ用意されたフォーマット以外のWebページの追加に際しては業者への依頼が必要



<旧HP 一般向けページ>

リニューアルオープンの達成目標

協会ホームページの第一の役割は、視覚リハについての一般社会への普及・啓発をおこない、視覚リハに関する情報を必要な方に届けること。それができるHPを作成するため2017年4月にホームページリニューアルプロジェクトチームを設置

リニューアル後のページの達成目標を以下の三つに決定

1. 音声ユーザーに対するアクセシビリティを維持しながら
晴眼者(視覚障害のない方)やロービジョンのある方にとっても魅力的なページにする
2. 記事の作成と編集を自分たちで自由におこなえるように
すること
3. HPを管理・更新する人がHTMLの知識がなくても作業に
携われること

HP制作の前準備でプロボノ企画に応募

HP制作の費用を抑えるため、NPO法人等の活動を企業のボランティアで支援してくれる「認定NPO法人サービスグラント」の*プロボノ短期企画に「ウェブサイト改善提案」の支援を2017年7月に応募し採択された

*プロボノ: 仕事を通じて培った経験とスキルを活かして社会に貢献するボランティア活動

進行中のプロジェクト

視覚障害リハビリテーション協会

視覚障害者のリハビリテーションを発展・普及させる目的で、視覚障害者に対する福祉・教育・職業・医療等の分野におけるリハビリテーションに関心をもつ人同士の相互の学際的交流を行うとともに、指導技術の向上のための活動を行っています。具体的には、全国大会の開催や研究会、講演会、講習会などの開催、論文誌の発行を行っています。

現在の課題は、ウェブページがリハビリテーションに関わる人や視覚障害者がターゲットになっているため、主な内容が研究発表などのため、情報量も多く、非常に硬い印象になってしまっている点です。今回のプロジェクトでは、対象を視覚障害者の家族や周りの人、また視覚障害者を雇用する企業に広げ、障害についての理解や必要なサポート、リハビリをすることでQOLが改善できるということを知ってもらえるようにするためのウェブサイトの改善提案を行います。

<http://www.jarvi.org/>



[ウェブサイト改善提案]

完了

■他のプロジェクト【一覧】

- 地味の友と歩む会
- 地味環境市民会議
- 日本障害者女子テニスボール協会
- 日本IDDMネットワーク

企画受け入れ時 ([サービスグラントHP](#)より)

日立企業プロボノ活動の過程

- プロジェクトを実際におこなったのは日立企業プロボノチーム
- 2017年9月21日キックオフミーティングをおこない、その後もメールや試作サイトで意見交換をし作って欲しいHPについてイメージを共有した
- 日立企業プロボノメンバーによる視覚リハ施設実地調査を経て
- 2017年11月27日に成果物としての改善提案



日立社内ミーティング

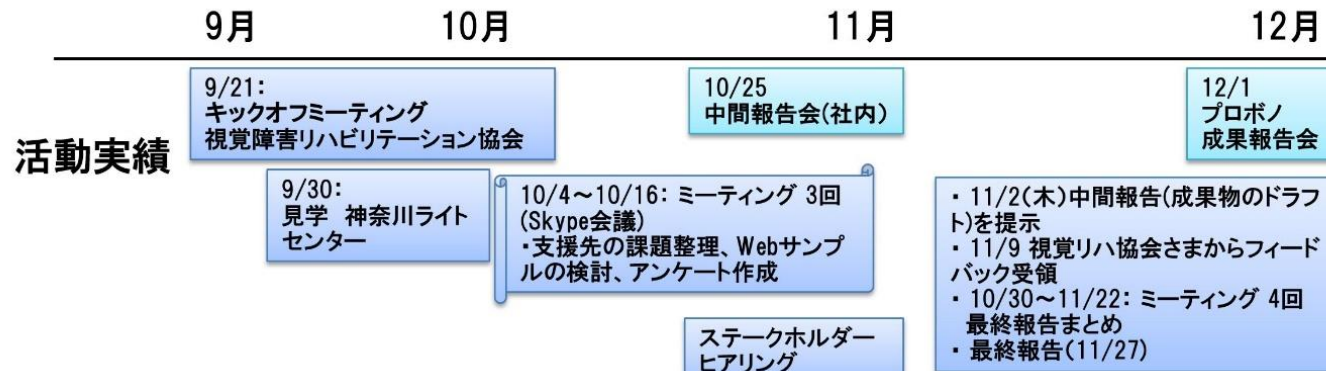


2017年11月27日
成果物提案時の集合写真

成果物提案までの 日立企業プロボノチームの活動

2. 日立企業プロボノ活動 実績

中間報告以降変更有

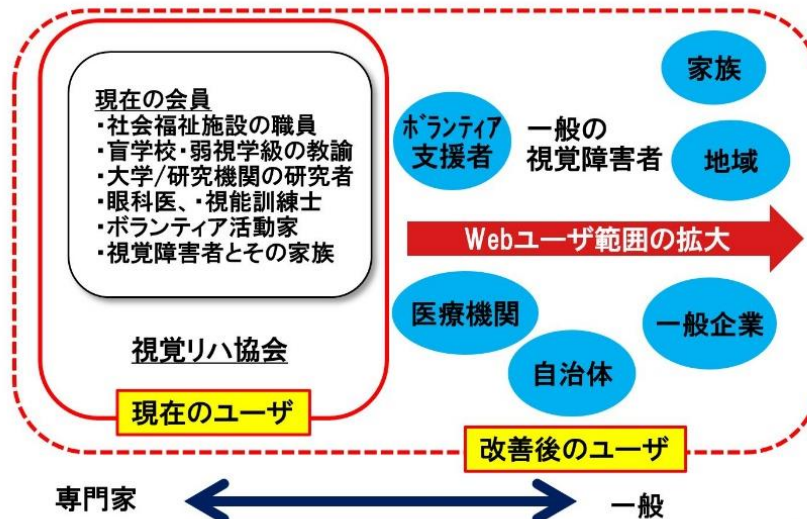


#	組織名	対応者	ヒアリング日程
1	東京視覚障害者生活支援センター	福石、山田	10/26(木)10:00～
2	日本盲導犬協会	山田、加来、永守	10/30(月)14:30～
3	東京ヘレン・ケラー協会点字図書館	-	アンケート回答のみで、ヒアリング無し
4	日本点字図書館	加来、伊藤	10/28(土)14:00～
5	日本盲人職能開発センター	福石、加来、山田	11/1(水)17:30～
6	国立障害者リハビリテーションセンター病院	山田、伊藤、永守	11/9(木)17:00～
7	東京都盲人福祉協会	山田、加来、永守	10/30(月)10:30～

日立企業プロボノチームの 提案の基礎となった考え方

3. Webサイトの内容に対するご提案 中間報告以降変更有

現状の課題



協会の強みと弱み

協会の強み

- ・専門的なコンテンツが充実（論文誌、研究大会報告書など）
- ・研究大会などイベントによる会員相互の交流と情報交換。
- ・地方の視覚障害リハの理解を高めるためのイベント企画

協会の弱み

- ・視覚障害者本人や家族への情報発信が弱い。
- ・一般の人に理解し易い情報が少ない。
- ・Webがビジュアル的に弱い。

Webサイト改善のねらい

1 情報を必要としている人に情報発信。

2 強みを生かして、会員を広げる。

1. ビジュアルに見やすいデザイン

2. 専門用語を使わないコンテンツ

3. 協会の強みのPRと情報発信

成果物(提案されたHP)

3.1 ビジュアルに見やすいデザイン(1) 中間報告以降変更有

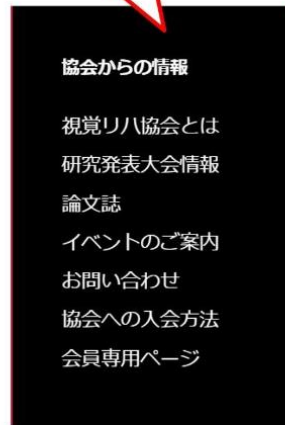
“WordPress”を使った、ビジュアルなデザイン(トップページ)

<https://chokoprod2017.wordpress.com/>

試作Cを作成しました

読者層別
メニュー

基本メニュー



試作Webページのデザイン
試作サイトへのご意見を踏まえ、
トップページで読者層別
おすすめ記事へのリンクを大
きな写真で表示(手動でスラ
イドさせます)



本サイト作成開始 (CMSとサーバーの決定)

- プロボノ成果物は協会の期待に沿うと評価、これを活用したホームページリニューアル推進を決定。
- 日立企業プロボノチームと視覚リハHPチーム相互の信頼関係が構築されていたので、サービスグラントに仲介いただき、プロボノ活動の継続を双方が合意、2018年1月に再キックオフ。
- 成果物の考え方を受け継いでCMSにはWordPressを採用
WordPressとの相性と、コストの面からレンタルサーバーは「さくらインターネット」に決定した
- しかし「さくらインターネット」のメーリングリスト(ML)のサービスは協会が求めるスペックに合わないことが判明した
- 協会員の情報交換ツールとしてのMLの重要性を考慮して
ML機能は今までのJoe's社サーバーに残し、2台のサーバーを運用することを選択した

安定した本サイトを作成するために

- プロボノメンバーは期間限定のボランティアであり、またWebデザインおよび運用のプロではなく、保有している技術は限られる
WordPressのデザイン・運用についてプロの助言を得るべきという原則に従い、要所要所でサービスグラントから紹介されたプロの助言を受けて技術的作業を進めた
- その結果、作業が安定的にスムーズに進んだ
- リニューアルオープン後もWordPressのバージョンアップに合わせてのHPバージョンアップ等継続的なコンサルティングをこのプロの方に依頼した

会員サイトの作成

リニューアルした会員サイトは、会員のみが知ることのできる情報に特化して掲載し会員サイトとしての特徴を際立たせると共にHP管理の手間を軽減した。

●会員サイトの内容

1. 論文誌「視覚リハ研究」を発行と同時にPDFデータで掲載する。1年経って一般サイトにデータが掲載されたら会員サイトからは削除する
2. 総会・役員選挙等協会運営にかかわる情報の掲載
3. HPへの情報掲載依頼受付、会員情報更新、広報委員会への受信箱等
4. 過去の協会HPの保管庫を設置、1999年からの過去のHPデータが閲覧できる

4つの対象別の記事執筆について

- 改善提案の重要な柱、対象別の記事の執筆を2018年6月半ばより開始
- 4つのカテゴリー
 - 視覚障害者のご家族の方へ
 - 企業の皆様へ
 - 医療関係者の皆様へ
 - 視覚リハ豆知識
- 視覚リハメンバーが専門知識を活かし、プロボノメンバーは自らの生活の工夫や学びを活かして、分担して執筆
- 専門用語の使用をなるべく避けつつ、視覚リハの観点から間違いない内容に仕上げていくという難解な仕事
- さらに完成を9月末に設定するなど過酷の条件の中総力戦で原稿作成を進めたが、まだまだ不十分と自己評価
- 2018年度第4回定例理事会において、議題7「リニューアルするホームページで公開する啓発記事の内容について」で審議の上承認され現在公開中

写真ではなくイラストで 優しく抽象的に

4つのカテゴリーに対応する4つのイラスト



- 点字ディスプレイや白杖、盲導犬などの写真をページのトップに持ってくると、視覚障害者＝全盲、あるいは点字使用という固定観念を助長しかねない。このため写真ではなくイラストを掲載することに決定
- イラストレーターに対象別の4つのメニューに合ったイラスト作成を依頼、イラストレーターとプロジェクトメンバー・プロボノメンバーとで議論しイラストを決定

会員投票による協会ロゴの決定

協会ではこれまでロゴを持っていなかった。

HPリニューアルを機に協会ロゴを作成することとし、デザイナーに作成を依頼。

候補を2パターンに絞り込んだ後、理事からの提案で会員投票を実施。
(投票にはGoogleの無料投票フォームを利用)

【投票結果と評価】

投票期間: 2018年10月29日(月)～11月5日(月)

投票総数: 140(うち役員18)

結果

A案: 44票 B案: 96票 ⇒ B案のロゴに決定

会員が投票することでロゴ決定に参加するというイベントは会員の一体感を高めるのに役立った!!



採用されたロゴ: JARVIのAの横棒部分を取り、背景の真ん中に濃度を下げた円形を追加し目のイメージにしたロゴ

研究発表大会とのリンクを強調

旧協会HPがオープンしたのは2012年、研究発表大会独自でHPを作成するようになったのは2012年第21回大会からである。

研究発表大会は協会にとって年に1度の大イベント。大会HPとのリンクの存在を視覚的に目立たせたいというのは悲願であった。

リニューアル後の協会HPではメニュー左上に大会ロゴを置きトップ正面のスライダー5番目に大会ロゴを入れて、それぞれクリックすると大会HPに直接飛ぶようにデザインした。



盛岡大会ロゴが際立つ協会HP
ロゴをクリックすると大会HPへ

2018年12月8日新ホームページ運用開始 (リニューアルオープン達成した要因)

- 視覚リハチームと日立企業プロボノチームの強い信頼関係に裏打ちされた相互のコミュニケーション
- チームメンバーに晴眼者・軽度ロービジョン者・重度ロービジョン者・全盲者がおりそれぞれの立場で意見を出し合えたこと、プロボノメンバーの支援でそれをWordPressで試作しながら進めたこと
- 必要に応じてプロのアドバイス、および作業を受けられたこと

【目標に対する自己評価】

1. 音声ユーザーに対するアクセシビリティを維持しながら晴眼者やロービジョンのある方にとっても魅力的なページにする
→ WordPressのアクセシビリティ、プロのイラストレーターによるイラスト、写真も取り入れた4つのカテゴリーの記事により、一定の成果を達成
2. 記事の作成と編集を自分たちで自由におこなえるようにすること
→ WordPressでワープロのように編集、勉強会も開催し自分たちで編集できるようになった
3. HPを管理・更新する人がHTMLの知識がなくても作業に携われること
→ ユーザー管理や簡単な設定変更はWordPressの管理メニューで可能、バージョンアップなど技術が必要な作業はプロに依頼する枠組みができた

今後の取り組み

①運用体制と広報規範の確立

- 自由に様々な記事を掲載できるHPを持ったことから、それを協会の顔として使いこなし、視覚リハと視覚リハ協会について正しく広報する戦略を立てる必要が生じているが、これからの課題である
- 広報委員会の中で、広報戦略を立てる人たちとホームページの安定的な更新作業をおこなう人たちとの組織的な役割分担の構築が必要
- ホームページの更新作業を安定的におこなうための人材育成が急務

今後の取り組み

②会員が気軽に協会HPを利用できる 雰囲気とシステム作り

- 協会HPが視覚リハ情報を一般社会に届けるという役割を果たすためには、常に新しく魅力のある情報を収集し掲載することが必須
- 会員ML上では有用な情報が豊富にやり取りされている一方で、HP上への情報掲載はフォームへの入力の手間などから利用頻度が下がる傾向が見られる
- MLに上がった情報がHPでも掲載されるよう、情報掲載手続きを簡単にする工夫を行う
- 地域でおこなわれるイベント、研修会等の情報を協会HPで広く社会に流すことが会員にとって当たり前のことになるような雰囲気づくり啓発活動の実施